

地方創生の推進について

1. 第3期恵庭市総合戦略ガーデンシティプラン

令和7年度（計画2年目）数値目標・KPI

資料1 のとおり

2. 令和7年度 新しい地方経済・生活環境交付金の交付実績

資料2 のとおり

3. 令和7年度 新しい地方経済・生活環境交付金事例集

資料3 のとおり

4. 令和8年度地域未来交付金の採択状況

資料4 のとおり

5. 恵庭市総合戦略の改定について

国と恵庭市の地方創生に関する取組経緯	
平成26(2014)年	【国】直面する人口減少克服・地方創生という構造的な課題に取り組むため「まち・ひと・しごと創生本部」を設置・国の総合戦略を策定
平成27(2015)年	【市】「恵庭創生懇談会」設置・恵庭市総合戦略策定
令和元(2019)年	【国】「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年版)」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
令和2(2020)年	【市】第2期恵庭市総合戦略策定（令和6年度まで）
令和4(2022)年	【国】デジタル技術の活用を主眼に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定
令和6(2024)年	【市】第3期恵庭市総合戦略策定(令和10年度まで)※1年前倒し策定
令和7(2025)年	【国】地方創生2.0基本構想・地方創生に関する総合戦略策定
令和8(2026)年	【国】「地域未来戦略」策定(令和8年7月21日閣議決定)

■第4期恵庭市総合戦略の「前倒し」策定

本市を取り巻く環境の急激な変化に迅速に対応するため。

- ・理由①：国の新たな地方創生政策への対応

国の「地域未来戦略」を踏まえ、地域未来交付金を最大限活用。

- ・理由②：戦略プロジェクトの推進

新ファーム構想をはじめとする新市街地整備や、市内各所における重要なまちづくり事業を、市の戦略として明確に位置付け。

■恵庭市人口ビジョンの改定

令和7（2025）年国勢調査の最新結果を踏まえて改定。

※第4期恵庭市総合戦略の策定にあたり恵庭創生懇談会で検討

第3期恵庭市総合戦略ガーデンシティプラン 令和7年度(計画2年目)数値目標・KPI

資料1

※ 実績及び数値目標については、直近(最新)の数値を記載

【基本目標(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり】							
区分		計画の基準値		目標(第3期)	R7年度実績値		備考
KPI	複合施設利用者数(人)	R4	636,800	増加	R7	761,615	(内訳) ・えにあす:657,152人 ・黄金ふれあいセンター:63,384人 ・かしわのもり:41,079人
	さっぽろ連携中枢都市圏事業の実施数(事業)	R4	7	増加	R7	11	
	千歳市との連携:「予定より早く進んでいる」「予定どおり」の事業数(事業)	R4	32	増加	R7	38	
	エコバス利用者数(人)	R4	318,254	維持	R7	411,855	
	公共施設床面積(㎡)	R4	253,259	削減	R7	247,476	
	PPP・PFI件数(件)	R3	22	増加	R7	41	
【基本目標(2)安全安心に住み続けたいまちづくり】							
区分		計画の基準値		目標(第3期)	R7年度実績値		備考
KPI	Instagramフォロワー数	R4	7,154	増加	R7	15,424	
	えにわかアクティブユーザー数	R4	2,309	増加	R7	6,744	
	新築戸数(戸)	R4	288	増加	R7	269	
	いきいき百歳体操サポーター登録者数(名)	R4	39	増加	R7	27	
	長寿大学学生在籍数(人)	R4	116	増加	R7	101	
	救命講習受講者数(累計人)	～R4	40,373	増加	R7	49,685	R3:1,050 R4:1,938 R5:2,399 R6:2,253 R7:2,495(人)
	地域版避難所運営マニュアル策定数(地域)	R4	5	増加	R7	10	
【基本目標(3)恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり】							
区分		計画の基準値		目標(第3期)	R7年度実績値		備考
KPI	観光入込客数(人)	R4	1,670,000	増加	R7	1,722,437	
	ふるさと納税者数(件)	R4	115,565	増加	R7	95,859	
	製造品出荷額等(億円)	R2	1,418	増加	R7	1,701	令和7年版恵庭市統計書より
	ふるさと納税返礼品数(個)	R4	620	増加	R7	1,670	
	市内温室効果ガス排出量のH25年度比(%)	R2	14.8%減	削減	R7	36.5%減	
	市役所の事務事業における二酸化炭素排出量のH25年度比(%)	R3	19.4%減	削減	R7	35.0%減	第5次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)令和6年度実績報告より
	就職支援制度利用による就労者数(累計名)	R4	370	増加	R7	280	(内訳) 合同企業説明会:23、ジョブガイド恵庭:257
	起業件数(5年間累計件数)	R2～R4	61	増加	R7	51	(3年間累計内訳) R5:18 R6:22 R7:11(件)
	オーダーメイドツアー参加者数(件)	H26～R4	75	増加	R7	102	(5年間累計内訳) R3:3 R4:17 R5:25 R6:28 R7:29(件)
	日本語習得支援ボランティア育成セミナー及び講座の参加者数(人)	R2～R4	316	増加	R7	848	(3年間累計内訳) R5:279人 R6:273人 R7:296人
地元(大学・専門学校・高校)卒業者の地元就職(%)率	R4	4.7	増加	R7	4.4	R7年度学校基本調査(独自調査)結果(R7.3卒業生)	
【基本目標(4)希望を持って子育てしたいまちづくり】							
区分		計画の基準値		目標(第3期)	R7年度実績値		備考
KPI	子育て応援企業表彰数(件)	R4	18	増加	R7	21	
	合計特殊出生率	R3	1.35	維持	R6	1.13	令和6年度人口統計調査結果及び令和6年4月1日の市内人口により算
	授業でタブレット端末を「ほぼ毎日」使用している割合	R4	小学校23.4 中学校25.9	増加	R7	小学校46.7 中学校56.2	令和7年度全国学力・学習状況調査結果
	公共施設のwifi環境の整備箇所数(箇所)	R4	9	増加	R7	10	



それぞれの基本目標で定めたKPI(重要業績評価指標)が達成されることで、総合戦略が目指す重要目標達成指標(KGI)の達成が期待。

○重要目標達成指標(KGI)									
区分		計画の基準値		目標(第3期)	R7年度実績値		備考		
数値目標	将来人口推計からの人口比率	1.000		基準値を上回ること	R7	1.002			
	純移動数(1月~12月)(人)	+412		累計人数の増加	R7	785	転入者数ー転出者数 R6:553 R7:232		
	観光入込客数(人)	1,670,000		増加	R7	1,722,437			

令和7年度 新しい地方経済・生活環境交付金の
交付実績について

資料2

[単位:円]

□第2世代交付金

(補助率:事業費の1/2以内)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度～R7年度(5年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
A-①	恵庭市公式アプリの開発	7,912,000	3,956,000	7,911,200	3,955,600
A-②	恵庭の魅力拡充 (市内観光施設でのホーストレッキング事業)	314,000	157,000	313,500	156,750
A-③	恵庭の魅力拡充 (市内の魅力あふれるコンテンツを結ぶ周遊 促進事業)	691,000	346,000	686,921	343,460
A-④	恵庭の魅力拡充(シティセールス事業)	2,940,000	1,470,000	2,895,899	1,447,949
A-⑤	恵庭の魅力拡充(産業連携推進事業)	5,306,000	2,653,000	5,201,447	2,600,723
A-⑥	市民健康づくり(歩くことを通したまちづくり事 業)	556,000	278,000	554,236	277,118
A-⑦	市民健康づくり(サイクルフェスタ事業)	1,500,000	750,000	1,500,000	750,000
A-⑧	移住定住の推進	3,889,000	1,945,000	3,554,250	1,777,125
小計		23,108,000	11,555,000	22,617,453	11,308,725

B:柏陽地区複合施設整備事業<R7年度>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
B-①	拠点整備事業(複合施設整備に伴う設計)	24,999,000	12,499,000	24,999,000	12,499,000
B-②	インフラ整備事業(かしわぎ公園整備に伴う設 計)	3,018,000	1,207,000	3,018,000	1,207,000
小計		28,017,000	13,706,000	28,017,000	13,706,000

第2世代交付金 合計	51,125,000	25,261,000	50,634,453	25,014,725
------------	------------	------------	------------	------------

(補助率:事業費の1/2以内)

□デジタル実装タイプ TYPE1(ソフト事業:4事業) 所管:総務部情報政策室情報政策課 <R7年度>

事業名	申請		実績	
	事業費	交付決定額	事業費	交付額
窓口支援システム(書かない窓口)の拡大事 業	57,758,000	28,879,000	57,758,000	28,879,000
窓口手数料等のキャッシュレス化事業	1,029,000	514,000	510,638	255,319
電子契約導入事業	1,518,000	759,000	62,260	31,130
地域公共交通案内情報デジタル化推進事業	4,373,000	2,186,000	4,372,610	2,186,000
小計	64,678,000	32,338,000	62,703,508	31,351,449

(補助率:事業費の1/2以内)

□地域防災緊急整備型 所管:総務部基地・防災課<R7年度>

事業名	申請		実績	
	事業費	交付決定額	事業費	交付額
災害用物資備蓄事業	1,695,000	840,000	1,366,860	683,430
小計	1,695,000	840,000	1,366,860	683,430

【A-①】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭市公式アプリの開発

資料3

シティプロモーション課

分野の異なる施策において、共通で利用できる恵庭市公式ポータルアプリ「えにわか」を開発し、多くの市民や市外の人が活用することにより、「観光・市民生活・経済・まちづくり」の4つの異なる分野の施策をつなげ、一体的な施策展開を進めることにより相乗効果を引き出す。

関連数値目標・KPI

恵庭市公式アプリ 「えにわか」	KPI	R3 (1年目)	R4 (2年目)	R5 (3年目)	R6 (4年目)	R7 (5年目)	合計
アプリへの登録者数	目標	500人	500人	800人	1,000人	1,000人	3,800
	実績	0人	3,206人	3,371人	1,423人	2,150人	10,150人

担当コメント

○多言語対応機能の追加や細かな機能改善を随時行うことにより、更なる利用環境の整備を進めることができた。

○えにわか抽選会の開催により、アプリ内ポイント機能「えにぽ」の利用促進を図ることができた。

○ダウンロードキャンペーンの実施により、市イベントに訪れた方々に対し、広くアプリのPRを行うことができた。

●一方で、「えにぽ」を含む各種機能について、市民及び事業者双方の継続的な利用・活用等に向け、利用拡大に向けた新たな取組を検討していく必要がある。

取組事例

外国語対応

○主な取組み

- ・R8. 2. 25 多言語対応版リリース
英語・ベトナム語・ネパール語・韓国語・中国語（繁体・簡体）に対応。
- ・アプリTOP画面に言語選択ボタンを新設

○主な成果

- ・在住外国人や外国人観光客が必要な情報を容易に取得できる環境を整備したことによる利便性向上、多文化共生社会の推進に寄与した。

えにぽ抽選会の開催

○主な取組・成果

恵庭の特産品等が抽選で当たるイベントを開催。えにぽの利用促進に寄与。

- ・R7. 7. 15 第1回えにぽ抽選会…応募総数210口
- ・R7. 11. 20 第2回えにぽ抽選会…応募総数78口

ダウンロードキャンペーン

○主な取組・成果

市のイベントと被せ、アプリダウンロードを促すブースを出展。アプリダウンロード数向上に寄与。

- ・R7. 9. 6(土) えにわか産業祭…新規ダウンロード16人
- ・R7. 9. 7(日) 環境エネルギー展…新規ダウンロード12人



【A-②】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充（市内観光施設でのホーストレッキング事業）

資料3

花と緑・観光課

緑のふるさと森林公園では、新たな観光コンテンツの造成のため、乗馬体験などのホーストレッキング事業を実施し、新しい恵庭の魅力拡充を目指す。

関連数値目標・KPI

ホーストレッキング事業	R7(2025)
乗馬体験者数	64件

担当コメント

【ホーストレッキング事業】

令和7年度は、令和6年度に比べ参加数が減少した。開催日の朝方に小雨が降っていたことや、開催日前日の夕方に北海道より「秋のヒグマ注意特別期間(8月22日～10月31日)」の緊急速報が通知されたことなどが件数減少の要因と考えられる。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、ワークショップとキッチンカーの出店を行った。これにより、乗馬体験後にワークショップを体験したり、キッチンカーで軽食を楽しんだり、園内に長時間滞在している姿が見受けられた。

本事業の参加者満足度は非常に高く、本事業を契機に当園の自然の豊かさやアスレチック遊具などの魅力を発信することができた。

取組事例

恵庭の魅力拡充事業

ホーストレッキング事業

○事業説明

- ・実施日：8月23日 10:00～15:00
- ・3歳以上を対象とした引馬乗馬体験を緑のふるさと森林公園アスチック広場にて実施した。
- ・緑のふるさと森林公園管理棟前にて恵庭観光協会企画「えにわワークショップ&キッチンカー」を同時開催し、ワークショップ2店舗（どんぐりストラップ、虫よけスプレー作成）、キッチンカー2店舗（クレープ、ソフトクリーム、かき氷）が出店した。

○主な成果

- ・引馬乗馬体験参加数 64件
- ・ワークショップ参加数 15件
- ・キッチンカー購入客数 40件



【A-③】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充（市内の魅力あふれるコンテンツを結ぶ周遊促進事業）

資料3

花と緑・観光課

デジタル観光マップ等を活用して「花の拠点(はなふる)」を中心に市内飲食店・観光スポット・アクティビティを結んだ周遊プランの作成と市内宿泊者向けの市内移動手段の提供により、市内周遊の促進と魅力拡充を図る。

関連数値目標・KPI

市内周遊プラン作成事業	KPI(R7) 目標値	KPI(R7) 実績値
花の拠点「はなふる」利用者数	623,114人	1,226,805人

はなたびタクシー利用券事業	R7実績値
利用件数	3,174件

担当コメント

【市内周遊プラン作成事業】

令和7年度はSNSを活用したPRと市内公共施設・札幌市地下歩行空間などへポスター・リーフレットを配架し、プランの周知を行い、市内周遊促進を図った。今後は、複数あるパンフレットやデジタル観光マップ、Webサイト等のツール統合を実施し、店舗やスポットに係る最新情報の即時反映や情報の集約化による利便性の向上を図り、市内周遊の更なる促進に取り組んでいく。

【はなたびタクシー利用券事業】

令和7年度の利用件数は、令和6年度と比較し、ほぼ横ばいであった。

利用者から好評を得ており、ホテルから距離の離れた飲食店の来訪促進および周遊性の向上が図られた。一方で、観光需要の回復等に伴うタクシー不足により、時間帯によっては供給に課題が生じた。

取組事例 — 恵庭の魅力拡充事業

市内周遊プラン作成事業

○事業説明

令和5年度に花の拠点(はなふる)を中心とした市内周遊プランを作成。令和7年度は、SNS広告やプロモーションツールにより、周遊プランをPRし、市内周遊の促進に取り組んだ。

○主な成果

SNS広告(Instagram)
インプレッション数 805,403回



はなたびタクシー利用券事業

○事業説明

花の拠点(はなふる)内にある宿泊施設から市内飲食店、観光施設、商業施設、温浴施設へのタクシー利用の際に使用できる利用券を発行し、宿泊者の市内周遊促進および消費拡大を図った。

○主な成果

・利用件数 3,174件



【A-④】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充（シティセールス事業）

資料3

シティプロモーション課

SNSやWeb媒体を活用し、本市の魅力を効果的に発信することで認知度向上と関心喚起を図り、情報発信を通じてふるさと納税寄附・移住検討・来訪の機会を促し、関係人口の創出・拡大及びふるさと納税・移住定住等の促進につなげる。

関連数値目標・KPI

Instagram	KPI	R4 (基準)	R5	R6	R7
フォロワー数 (年度末)	目標	-	増加		
	実績	7,154人	11,907人	13,411人	15,424人

担当コメント

○市公式Instagramでの重点的な情報発信を行ったほか、「えにわフォトコン」の開催により参加者からの情報発信・閲覧数の増加・フォロワー数の増加に努めた。

○SNSやWEB媒体を活用したPRやイベント出展、トラベルWEBマガジン「旅色」とのタイアップ等全国的なPRを実施した。

○商業・観光・移住・ふるさと納税など施策間連携を強化し、各種イベント出展時におけるPRなどを一体的に推進した。

○市を取り巻く環境・社会情勢等を考慮し、より効果的・実効性のあるシティセールスを推進するため、令和7年6月に「第2期 恵庭市シティセールスプラン」を策定した。

●SNSやWEB媒体を活用したPRの結果、市公式Instagramのフォロワー数は近隣市町村と比較し、相対的に高い傾向にある。これらの取組みを引き続き実施することにより、移住や来訪といった具体的行動につながるシティセールスを全庁一体的に推進していきたい。

取組事例

恵庭の魅力拡充事業

SNS等を活用した戦略的なシティセールスの推進

○主な取組・成果

- ・公式Instagramでの投稿：123件
- ・デジタル広告の実施（Instagram、検索サイト）
2動画制作、Instagramフォロワー数815名増
- ・えにわフォトコンの開催：投稿数250件
- ・各種イベントの出展
R7. 4. 25 エスコンフィールド出展
R7. 7. 12 楽天モバイルパーク宮城出展
R7. 12. 14 レバンガ北海道恵庭市民応援デー出展
- ・ラジオCM（地域FMラジオe-niwa）
偶数月にCMを週6本、日中時間帯枠に放送
- ・「旅色」への掲載・動画掲載：
電子雑誌PV：32,454PV
動画合計再生数：448回



第2期恵庭市シティセールスプランの策定・推進委員会の開催

○主な取組・成果

「第2期恵庭市シティセールスプラン」を令和7年6月に策定。計画に基づく委員会を計3回を開催し、施策展開方針等を審議した。

- ・R7. 10. 29 第1回委員会開催
- ・R7. 12. 19 第2回委員会開催（書面開催）
- ・R8. 3. 30 第3回委員会開催



【A-⑤】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 恵庭の魅力拡充（産業連携推進事業）

資料3
商工労働課

地域産業の活性化を目的に、産業・企業の活力を市内外へのPRを目的としたイベントや市内特産品を活用した商品開発及び販路拡大等を図るためのフェアを開催。また、友好都市静岡県藤枝市との産業交流により異なる特徴をもつ地域間において、両市の事業者がそれぞれの農産物や技術を活用した試作支援を行うことで、地域のブランド力を高め魅力拡充を図る。

関連数値成果

えにわん産業祭

来場者数

R6年 約10,000人
R7年 約12,000人

試作支援事業

試作商品数(R7新事業)

恵庭市 2商品、藤枝市 1商品

エニマルシェフェア

主な
実施
内容

- ①市内事業者監修！期間限定スイーツメニュー
- ②市内事業者とのタイアップ！期間限定駅バルメニュー
- ③監修店・タイアップ店の商品販売
- ④シェフズキッチン

担当コメント

【えにわん産業祭】

来場者数が年々増加しており、アンケートからも満足度が高いため、地域産業の活性化のため継続して実施していく。

【試作支援事業】

新商品開発の一助になることに加え、両市の特産品等の認知度向上へつなげるため、継続して実施していく。

【エニマルシェフェア】

タイアップ企業からも「地域に根差した企業PRにつながった」との評価を得るなど、地域事業者の魅力発信の場として一定の成果を上げることができた。

取組事例

恵庭の魅力拡充事業

えにわん産業祭

恵庭の地域資源を活用した商品やものづくり企業による商品紹介・企業紹介・技術紹介を行うための産業PRイベントとして開催。恵庭の産業、企業の活力を市内外にPRし、地域産業の活性化を目的としている。



試作支援事業

恵庭市・藤枝市で生産された農畜産資源を相互に活用した新商品創出に向けた研究、開発等に取り組む事業に対し支援。



エニマルシェフェア

恵庭市内の特産品を活用した商品開発及び販路拡大の推進並びに市内アンテナショップへの誘客促進を図ることを目的にフェアを開催。また、認知度向上のため、チラシ・ポスターを作成し広く周知活動を行った。



【A-⑥】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり（歩くことを通したまちづくり事業）

資料3

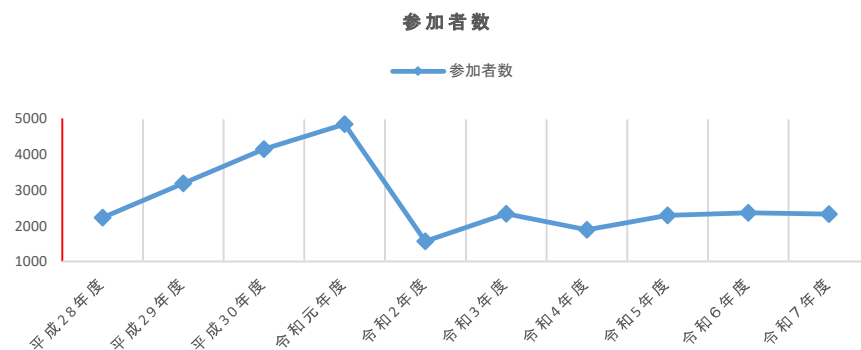
健康スポーツ課

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流の推進、歩くことと楽しさを重視したイベントを組み合わせることで、健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康への関心と参加を促し、市民の健康意識の向上と健康づくりへの機運を高めた。

関連数値目標・KPI

	KPI目標値 (最終目標)	KPI実績値 (R7)
参加人数	2,500人	2,318人

事業参加者数の状況



担当コメント

令和7年度は、個人参加型と集客型の両軸で、幅広い層が親しめる事業を展開した。民間企業と連携したサッカー関連のウォーキングイベントは、現役世代や親子連れを中心に動員数が堅調に推移し、活況を呈している。事業全体の参加者数は2,318人となり、コロナ禍前と比較すると減少しているものの、市民に定着した事業として根付いている。次年度以降も市民ニーズを的確に捉え、歩くことを通した健康づくりの機運醸成に努めたい。

取組事例

市民健康づくり事業

歩くことを通したまちづくり事業

○歩くイベントの実施

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流を推進し、健康づくりを推進するまちづくりを目指す。

- ・Jリーグウォーキング
明治安田生命保険相互会社と共催
- ・冬の健康づくりセミナー
冬期間に実施可能な生涯スポーツの体験
- ・ノルディックウォーキング
- ・歩くパネル展



○えにわ健康チャレンジの実施

楽しく自然と歩くきっかけをつくり、施設活用や健康づくりの機運醸成を図ることを目的に実施。

- ・ウォーキング&クイズラリー
- ・えにわ冬の健康チャレンジ・クイズラリー



○まちなか休憩所の設置

市内ウォーキングコース近郊の公共施設、民間施設等を活用して、「まちなか休憩所」を設置。まちなか休憩所では、以下の内容を市民に提供。

- ・トイレや休憩利用・健康情報を提供・クイズの設置・参加記念品配布



【A-⑦】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 市民健康づくり（サイクルフェスタ事業）

資料3

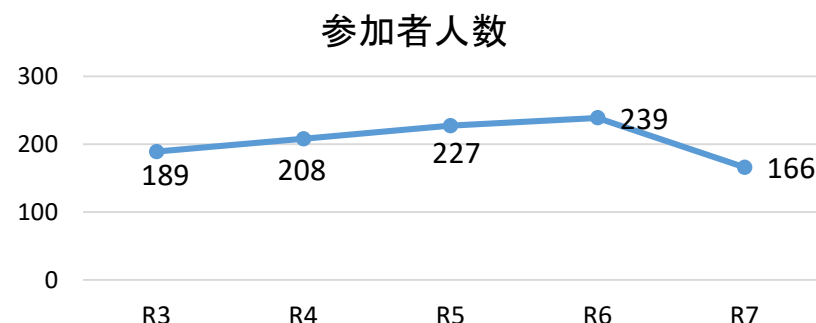
シティプロモーション課

「サイクルフェスタ・恵庭運営協議会」主催の自転車イベント「サイクルフェスタ・恵庭」を通じて、恵庭市の魅力の再発見・歩いて暮らせるまちづくり(CO₂削減)・自転車利用促進・観光推進・地域経済の活性化・健康増進などを図る。

関連数値目標・KPI

サイクルフェスタ・恵庭	R2	R3	R4	R5	R6	R7
申込者人数	コロナにより中止	189人	208人	227人	239人	166人

参加者人数の推移



担当コメント

○サイクルフェスタ・恵庭2025は盛況のうち開催され、事後アンケート結果からも満足度の高いイベントとなった。
○サイクルフェスタ・恵庭の次年度以降の開催方針について、主催者で慎重に協議を重ねた結果、主にく社会的要請の動向：他自治体における重大事故の発生＞＜運営体制の課題：現人員では安全対策を講じることが困難＞といった理由から今後の開催は見送りとなった。
●市としては今後のイベント再開を含めた可能性・方向性について、現行諸課題の整理・分析を勧めつつ、適宜慎重に検討を行う必要がある。

取組事例 市民健康づくり事業

サイクルフェスタ・恵庭2025の開催



○主な取組

- ・ R7. 9. 13～9. 28 イベント開催
申込者人数：166名（うち大人157名、小中学生9名／市内47名、市外119名）
- ・ R7. 10. 5 抽選・景品交換会

○主な成果

- ・ アンケート結果
イベント満足度：94. 9%（満足～やや満足）
今後も参加したい：97. 5%（積極的に参加したい～できれば参加したい）

サイクルフェスタ・恵庭の開催終了について

今後の開催方針について、R8. 3. 23に開催された同協議会臨時総会において、安全管理体制および事業継続の可否に関し慎重に協議を重ねた結果、R8以降の事業実施は困難であると判断され、今後のイベント開催を見送ることが決定された。

【A-⑧】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 移住定住の推進

資料3

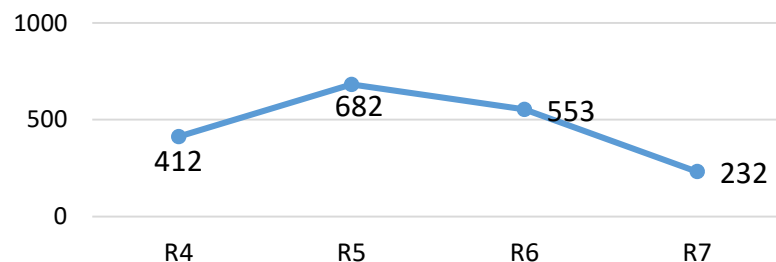
シティプロモーション課

移住検討者のニーズを踏まえた情報発信の充実や、オーダーメイドツアー等、移住検討者の検討段階に応じたきめ細かな対応により、恵庭市への移住・定住を促進する。

関連数値目標・KPI

純移動数 ※KGI	KPI	R4 (基準)	R5	R6	R7
転入 超過数 (転入者数－ 転出者数)	目標	累計人数の増加			
	実績	412人	682人	553人	232人

転入超過数の推移



担当コメント

○移住相談会への積極的な出展や、ターゲットを絞ったWEB広告の配信等により、移住相談件数は高まっている状況にある。特に、オーダーメイドツアーの申込件数は過去最高の29件となった。

○移住検討者のニーズとして「札幌・空港からの交通利便性を求める層」<子育て環境や自然環境の充実を求める層>が継続している状況にある。どちらも持ち合わせている恵庭市の魅力を、引き続きPRしていきたい。

●一方で、移住は長い期間をかけて検討されるケースが多く、「各施策を利用した結果移住に結びついたか」の判断が困難。他市町村の運用も調査しつつ、実態を把握する仕組みづくりの検討が必要。

取組事例

「移住相談会」への出展・「オンライン相談会」の開催

- 主な取組・成果<対面式相談会>
 - 【大阪】北海道移住相談会…20組
 - 【東京】北海道移住相談会…56組
 - 【大阪】北海道移住・交流フェア…34組
 - 【東京】北海道移住・交流フェア…64組
 - 【東京】推しは北海道…8組
 - 【東京】さっぽろ連携中枢都市圏フェア…27組【総計209組】
- 主な取組・成果<オンライン相談会>
 - オンライン移住相談…6組



移住に関する情報発信

- 主な取組・成果
 - ・恵庭市移住者向け情報冊子「えにわで暮らす」の発行…1,800部
 - ・恵庭市移住定住サイトの運営管理…セッション延べ33,926
 - ・Googleディスプレイ広告の発出…コンバージョン163件
 - ・大阪梅田に移住パンフ配置…800部



オーダーメイドツアーの実施

- 主な取組・成果
 - 恵庭市への移住を考えている方を対象とした、オーダーメイドの恵庭市内案内ツアー…29組

市内居住者向けイベントの実施

- 主な取組・成果
 - ・移住者交流会
 - 恵庭市に移住された方のフォローアップ…2回実施／参加人数：19組49名
 - ・住み替えセミナー
 - 空家の活用や不動産相続に関する講演…3回実施／参加人数：46名



【B-①・②】 柏陽地区複合施設整備事業

資料3
まちづくり推進課

- ・当該地区に子どもが集まることができる施設が無いことや、高齢者人口割合が高く、地区中心部への公共施設集約が望まれていることから、複合施設整備によりコンパクトシティの推進と地域交流の場の提供を図る。
- ・機能維持を主眼とした施設統廃合の推進を図り、長期的視点をもって将来の財政負担の軽減・平準化のための公共施設の適正配置を実現する。

関連数値目標・KPI

※【 】内は実績値を示す。

項目/目標値	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	累計
① 柏陽地区の人口増加(人)	【+85】		+180	+72	+44	-	-	+381
② 施設利用者数増加(人)	【-】		-	+1,210	+1,210	+1,209	+1,209	+4,838
③ 柏陽地区住民の継続的居住意識(%)	【+2.9】		-	+0.38	+0.38	+0.38	+0.38	+4.42

取組事例

まちづくり事業

○事業概要

老朽化した市営住宅建替集約により発生した余剰地に複合施設を整備する。
また、本施設と一体的な公園整備や周辺の道路拡幅事業等を実施する。

拠点整備事業

○事業内容・経費（令和7年度）

- ・施設設計（2か年中1年目） 23,606千円
- ・外構設計（2か年中1年目） 156千円
- ・駐車場設計（2か年中1年目） 1,237千円

インフラ整備事業

○事業内容・経費（令和7年度）

- ・公園設計（2か年中1年目） 3,018千円



担当コメント

本事業は令和7年2月に事業契約を締結。
民間事業者において、設計・整備・維持管理・運営（DBO方式）を一括実施し、効率的な事業推進を図ることとし、令和7年度は、事前調査、及び基本設計を実施をした。

＜関連数値目標・KPIの実績考察＞

①住宅需要の高まりから人口は増加しているが、今後周辺住宅地の整備によりさらなる人口増加が想定される。

②R10年度供用開始予定のため、実績値なし。

③複合施設整備を含む周辺環境整備への期待値が高まっていることから増加傾向となる。

令和8年度地域未来交付金の採択状況について

[単位:円]

□地域未来推進型

・拠点整備事業

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
柏陽地区複合施設整備事業 ＜R7年度～R9年度(2年目)＞	601,851,000	300,925,000	複合施設・外構・駐車場設計及び整備 工事(1年目)
小計	601,851,000	300,925,000	

・インフラ整備事業

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
柏陽地区複合施設整備事業 ＜R7年度～R9年度(2年目)＞	119,113,000	53,395,000	公園・下水道等周辺インフラ整備
小計	119,113,000	53,395,000	

地域未来推進型 合計

720,964,000

354,320,000

【新規事業】

□デジタル実装型＜R8年度＞

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
道路維持メンテナンスプラットフォーム構築事業	9,769,000	4,884,000	道路関連データを集約し、公開型GIS に反映させることで市民や事業者が いつでも閲覧できる体制の構築
小計	9,769,000	4,884,000	